



発行所 育英会 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル6階
電話 03(3256)1981
FAX 03(3256)1982
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(3582)8541

特集 卒業奨学生と母親の座談会

山口県・萩市で開催

平成三年三月二日、漁船海難遺児と母親の座談会を山口県萩市の萩越ヶ浜漁協会議室で、山口県漁連、萩越ヶ浜漁協及び萩市玉江浦漁協の協力を得て開催いたしました。この座談会は、水産庁から全漁連を通じて助成された「漁船海難遺児育英活動推進事業」の一環として開催されたものです。

当日、御出席の卒業奨学生は、阿部嘉良子さん(以上、萩越ヶ浜漁協)、前田育代さん(萩市玉江浦漁協)の三名、お母さん方は、阿部三重子さん、秋田恵美子さん、仁保百合子さん(以上、萩越ヶ浜漁協)、藤崎隆子さん、山下トシ子さん、藤原初美さん(以上、萩市玉江浦漁協)の六名、計九名でした。貴重な体験やご意見をいただき有難うございました。関係者として、山口県漁連・藤原会長、同漁政課・高野主任、漁船保険・林組合長、信越連・米田開発部長、信用基金協会・片岡総務部長並びに萩市玉江浦漁協・田中組合長、萩越ヶ浜漁協・中野組合長、同・仁保指導課長各氏のご出席をいただき、かつ、いろいろご配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

萩市には、一〇漁協、約一千の漁業経営体があり、約二千五百名の方が漁業に従事し、県内では下関に次ぐ水産都市であります。漁業は、船曳網、いか釣り、はえ縄、採貝、採藻、定置網が主なものです。本日お集まりいただいた玉江浦、越ヶ浜漁協では、東シナ海を主漁場とする遠洋あまだい・ふぐはえ縄が大きなウエイトを占め水揚げ金額も大きなものとなっております。なお、育英会からは、稲垣専務、小野業務部長、高橋主査が出席しました。

〔あいさつ(要旨)〕

藤原・県漁連会長 海難事故は無いことが望ましいのですが、残念なことに山口県は全国的にも事故の多い県と言われております。荒い海の日本海、遠い東シナ海、船舶航行の激しい瀬戸内海を漁場としており、事故があつとを絶えず悲しい思いをしております。

今朝も瀬戸内海で三十八歳の方が、また、一月にも二十五歳の本当に若い青年が二人の幼な児を遺して亡くなられ、心を痛めております。

不幸にして遺された家族の悲しみは大きなものがありますが、皆で手をさしのべて少しでも役立ちたいというのが私達の気持です。ここに出席の信漁連、漁船保険組合、信用基金協会さんなどが中心となって、魚まつりや水産まつり等のイベントが開催されるたびに募金を行います。育英会の仕事が手厚くできるように一生懸命やりたいと

思っております。

稲垣・育英会専務 本育英事業の開始以来二〇年間で約九千名の方を励まし、現在も約千二百名の方をお世話させていただいております。

本日の座談会は、遺族の方々の生活、教育の実情、漁業後継者問題等について意見を交換し、今後の指針に役立たせたいということと同時に、多くの方々に理解を得られるよう広報し、併せて海難事故防止の意識を高めていただくという欲張った目的をもちております。

皆様方の忌たんのない御意見を賜わり、また、貴重な体験を御紹介いただき、これをもとにますますの事業の充実を図ってまいりたいと考えております。



藤崎隆子さん



和やかな中にも貴重な体験談や、活発な意見の交換が行われた。

す。

〔卒業奨学生と母親の自己紹介〕

司会(小野) まず、遺族の方から家族構成、就業状況、事故年次などを具体的に聞かせください。

藤崎 事故があつたのは四十六年一月で、当時、長男は四歳、長女は一歳でしたが、その長女も一昨年結婚しました。長男は土木関係の会社に就職し、寮に入っておりますが、週に一度帰ってきます。いま施工管理技師二級免許を持っておりますが、一級免許を目指して頑張っております。私は、玉江浦漁協のお世話になっております。

山下 現在は娘と私の二人です。主人



山下トシ子さん

は、藤崎さんと同じ事故で亡くなりました。二〇年前のことでおじいちゃんもおばあちゃんも健在でした。娘は福岡の大学三年で、卒業しましたら県内に就職できればと思っております。私も玉江浦漁協に勤めさせていたで十八年になります。

藤原 玉江浦漁協に勤務させていたでいております。五十四年に主人が亡くなりました時、子供は小学校四年生と二人が保育園でした。現在は、次男が四月から高校三年、三男は高校入試ですが、育英会の貸与と給与を受けており心強く思っております。長男は今度大学四年で東京の方にあります。

前田・卒業生 父が亡くなったのは、四十三年一月で、私が生後九か月ときます。姉は嫁に行きまして、私は漁協で信用事業の仕事をしていただいております。母は、学校の給食の方に勤めております。



卒業生 前田育代さん

仁保 子供は四人、事故当時、二人は高校生、あとは中学生と小学生でしたが、現在それぞれ就職しております。

仁保・卒業生 本日は親娘で出席させていただきました。父が亡くなったとき、私は小学校二年生でした。小学生、中学生の間、育英会の奨学金をいただいていたと聞いております。現在の萩の郵便局の保険課に勤務しております。

司会 ほかのお子さんはこちらに？
仁保・越ヶ浜漁協指導課長 私が長男です。(笑)

私から説明させていただきます。四十五年一月に父が亡くなったとき、私は高校三年生、妹は一年生、それに弟が中学生、ここにいる下の妹が小学生でした。高校の二人は、奨学金を受けませんでした。あとの二人は受けました。いま、上の妹は漁業者のところに行き、弟はタンカーに乗っております。

秋田 四十八年五月に事故がありましたが、当時、私は三十三歳で長男は小学校三年、長女は小学校二年、次男は四歳でした。現在、長男と長女は市内に勤めており、長女は明日結婚です。次男は神奈川県内の大学四年で大学院に行くことになっております。私は、この漁協の指導課に勤めております。

阿部・卒業生 今日母と一緒に出席いたしました。四歳のとき父を亡くしました。現在は山口県庁に勤めており、今日は山口市から参加させていただきました。大学は通信教育でした。

阿部 事故は四十三年一月でした。私は越ヶ浜漁協に勤めております。子供は小さかったのですが、家が漁協に近く、おばあちゃんも元気で余り不自由なことはありませんでした。一緒に出席しているのが長女で、次女は博多の方に勤めており、長男も福岡の大学四年、今年就職です。

〔過去を振り返らず前を向いて〕

司会 次にお子さんが小さかったとき心配であったこと、その解決方法などを御紹介願います。

藤原 一番の子が保育園に行っておりましたが、終るのが四時で家に着くのが四時半頃になります。私が勤めを五時に終え家に帰るころは、冬ですともう暗くなっています。近くに私の母がおりますが、子供がこわくて家の中に入れず玄関に坐っていたようだとお話を聞きました。これを聞いて、かわいそうで胸が詰まりました。思い出しても涙がでます。

阿部 おばあちゃんが元気でいたから、子供はおばあちゃんまかせ、料理も上手でしたから特に問題はありませんでした。おばあちゃんがいってくれてよかったです。おばあちゃんも、よくして秋田 親せきが近くにおり、よくして



藤原初美さん

いただいたので助かりました。主人を亡くして、始めて勤めにすることに決めたのですが、仕事を覚えるのに一生懸命でした。どうしたものかという悩みましたが、子供がお母さん、おこづかいが十円でも少なくてよいからきれいな仕事をしな、と子供に励まされて頑張りました。今は親を理解してくれまして、お陰で幸せです。

藤崎 いろいろありましたが、現在は後を振り向きより前を向いて、なるべく過去を思い出さないようにしております。思い出せば自分が惨めになります。子供も大きくなりましたので、悲しいことは忘れたらと思っております。

司会 失礼いたしました。

〔漁協の遺族採用〕

司会 本日御出席の方は、漁協に勤められている方が多いのですが、遺族の方を優先的に採用されたのでしょうか。

田中・萩市玉江浦漁協組合長 四十二年から四十六年にかけて事故が続きました。当時、漁協は隆盛の時期で、職員を採用する機会も多く、よそから入るより地元からということで採用しました。この辺の組合では、どこでもやっていたことです。

中野・萩越ヶ浜漁協組合長 ここにおられる方は、漁協の伸び盛りのときに採用されたのですが、正規職員として頑張ってくれ、いまでは漁協にとっても無くてはならない存在となっております。

〔失ったものも大きいが得たものも〕

司会 お父さんが居られなくて、子供さんの進学などの相談相手に困りませんでしたか。

山下 男ですと決断力があるので、しょうが、女はどうも愚図愚図してしまいます。姉を頼りにしました。

藤原・仁保 全部子供本位、子供まかせでした。

秋田 私も子供の考えを尊重し、お互い助け合ってきました。



秋田恵美子さん

阿部 こんなとき、主人がおつたらなあと思つたことは、特にありません。全部自分の考えでやってきましたが、子供も大体同じ考えで理解してくれました。おじいちゃんには年金をもらっておりましたので小遣いを持っており、子供達がかわいそうだとおつたら小遣いを与え、人の持つていないものも持つていくくらいで、子供達はお金に困つたことはないと思つています。



阿部三重子さん

阿部・卒業生 いまの話は、弟のことです。(笑声)

父方の兄弟が多く、親せき同志仲が良かったので淋しいことはありませんでした。

仁保・卒業生 父がいてくれたら、それにこしたことはありません。父が亡くなったことで、普通一般の家庭より母に対して尊敬の念を持って育つたという感じがします。失つたものは大きいけれど、逆にそれによって得たものが大きいと思つています。

前田・卒業生 父親が亡くなった時、私はまだ小さく記憶が無いのですが、やはり父親参観日には、居てくれた方がよかつたと思つています。

〔漁業に対する考え方〕

司会 漁業について、どうお考えですか。

藤崎 子供に漁業の方に行くか、どうか聞いたことはありますが、子供の意志にまかせて積極的にはすすめませんでした。自分が長男であるという考えがあるのでしょうか。市内に勤めたかたようですが、県内に就職しました。

私は県外でもよいと思つておりまして、

た。山下 娘はまだ四、五年は結婚しないと思つています。相手は子供まかせです。私が漁協に勤めた二十年前は、浜も活気があり若い人も多かつたのですが、いまは恋愛の対象となる若い男性が少なくなつていないでしょうか。

藤原 申し訳ありませんが、子供から漁業にという話はありませんでした。私もあえてすすめませんでした。

長男は現在大学三年生ですから、就職問題は現実的なことになってきました。問題は現実的なことになってきました。本人は県内、できれば地元にと考

秋田 いまでも妹のところでは、漁業をやつて居るのですが、海はどうも阿部 息子を漁船に乗せたいと思つて



仁保百合子さん

秋田 いまでも妹のところでは、漁業をやつて居るのですが、海はどうも阿部 息子を漁船に乗せたいと思つて

阿部 息子を漁船に乗せたいと思つて

阿部・卒業生 漁業も景気の良いとき

阿部・卒業生 漁業も景気の良いとき

阿部・卒業生 漁業も景気の良いとき

ても、別に漁業が職業的に良い悪いとは思つていません。よく考えたことはありません。

司会 漁業者の収入あるいは将来を心配されているようですが。

中野組合長 賃金は漁獲に左右され、その時その時で異なり、また人によつて差がある。ひとりの景気のよい時期とは確かに収入が変つてきた。漁業も世の常で良いときと悪いときがあり、悪いときは良くなると思つて歯を食ひしばつて頑張つています。

田中組合長 初任給は、中学・高校を卒業して直ぐのときは悪くないのですが、十年ぐらいつと差がでてくる。中野 戦後四十五年も経つたから畑でも連作障害があるように、魚ももう取りつくしてしまふという感じがして

玉江浦にしても越ヶ浜にしても船団を組む漁業が主体なので難しい局面に思つていると思つ。方向転換の時期と思つ

が、一番の悩みです。

〔お母さん方の将来〕

司会 子供さんたちが独立したあと、お母さん方は将来どのようにされるか考へておられますか。

藤崎 子供と一緒に住むという考へがあるようですが、自分が元氣な間は母と一緒に思つています。

山下 子供が大学を終えて福岡から帰つてきて結婚すれば、別居と考へておられます。子供は一緒に住むと言つてくれますが、年をとつたら一緒に住むことになるかも知れません。

藤崎 成り行きにまかせます。

の道を行つて、私だけ残つたのですが、いまのところ何も申し上げられませんが、

秋田 そのときの状況に応じて、お互いに話し合つて決めたいと思つており

私をみてくれると言つてくれますが、それぞれの生活があるので、あつてにしないように思つておられます。

阿部 次女が博多の方に行つており、長男もどこに落ち着くことになるか分りませんが、本社が博多にある会社に就職が決まりました。足腰が立たなくなつたら博多に行くことになるでし

阿部・卒業生 私はお嫁に行くときは近くと思つていますが、具体的にはまだ考へたことはありません。



阿部嘉良子さん

藤原会長 それぞれ生活が違つておられますが、もう少し年をとれば、お母さんたちも報われるのではないで

〔貸与奨学生の採用は早目に〕

司会 育英会や育英事業に対する御意見・御要望、そのほか気が付きましたこと

林・漁船保険組合長 奨学金は、その時代に見合つた額が望ましいが、現在まだ十分とは言えない。中途半ばな状態では、有難味がなくなるのではないで

山下 いただいた奨学金は、高校のときは使わないように積み立ててしまつたが、大学入試のときに全部使しまつた。当時、まだ大学生に対する貸与制度がなかつたので、日本育英会から無

藤原 長男が東京の大学に居ります。家が、家賃が何万円もかかります。その分は自分でアルバイトで頑張つてお

り、食事代も安く済むのではないかと、いろいろな気持ちもあつてか、ファミリーストランで働いています。私も送金してはいます。

阿部 昨年四月から大学生も借りられるようになり、大変助かりました。稲垣専務 中学から高校に入ると、奨学金が三分の一に減ります。借りるという

阿部 両親が揃つていても、日本育英会などから借り方が多いのです。普通の借金とは違い、子供に十分な教育を受けられるためのもので、将来に活かされるのですから、利用させていただくべきだと思つています。

藤崎 高校までは親の義務と考へていたので、高校の奨学金は自分が返済しようと思つています。女の子は、奨学金の返済をお嫁に持つて行くことにな

仁保指導課長 日本育英会では、早い時期に手続き書類を学校でみんなに配布してはいます。

藤原会長 高校、大学入学前の早い時期に奨学生になれることが決つていな

稲垣専務 本年度、大学生は五十五名を予想していたが、出願者は四〇名でした。学校が対象外とか、よほど特別のケースでなければ採用できると考へ

藤原 大学の奨学金貸与の場合面接が

ありますが、県漁連会長の面接を受けるといふことは大変です。

阿部 災害遺児育英会の方が条件が良いというか、額が多いのではないですか。もっと貸付けてほしい。

阿部 まだまだお話があるかと思つていますが、この辺で本日の座談会を終らせていただきます。貴重な御意見、御要望は今後の育英事業に役立てていきたいと思つていますのでよろしくお願ひいたします。有難うございました。

質疑応答

座談会で出ました質問をとりまとめしたので、参考にしてください。

〔問〕大学院生は、貸与の対象となるのか？

〔答〕大学等の貸与事業は開始初年度であり、資金面を考慮し放送大学、通信教育によるもの及び大学院の在学

〔問〕奨学金返還開始時と生活状況が変つてきており、返還方法を変更したい。

〔答〕年賦・半年賦等の返還方法や一回の返還額を変更したいときは、御相談ください。本育英会もこの点を検討してはいます。

〔問〕高校と大学の両方の貸与を受けたいときは返還方法は？

〔答〕高校、大学の貸与が終了したときには、それぞれ借借証を提出し、返還は大学卒業後一年据置き、両方の貸与総額を二十年以内で返還することに